

「養父市が拓く中山間地の未来～過疎地域から日本を変える！～」 (兵庫県養父市)

課題（状況）



- ・農業経営の持続可能性の確保、担い手の確保と農業自体の高付加価値化が必要
- ・高齢者が地域社会により深く関与できる環境整備が必要
- ・新たな手法での法律の規制緩和が不可欠

政策（補助金等）/規制

- 国家戦略特区制度を活用し、国に対して規制緩和を提案
- ・農業委員会から市への業務の一部移管
 - ・農業生産法人の役員要件緩和
 - ・高齢者の労働可能時間の拡大等

成果

- ・農地流動化の促進
- ・特例農業法人の設立、6次産業化の推進
- ・流入人口の増加、地域文化の復活・振興
- ・農業への信用保証制度の適用
- ・高齢者の労働時間延長

目標



- ・若者が市内の「しごと」に魅力を感じて自分の生まれ育った場所で暮らしたいと考え、元気な高齢者が地域の中で生きがいを見つけ、活躍し続ける、またそのことに誇りを持てる「まち」づくり
- ・市内に住む全ての人々が心豊かで幸せに暮らせる“桃源郷”の実現を目指す

地域資源/産学連携等



(地域資源)

- ・市職員における国家戦略特区推進本部、国家戦略特区担当チーム、国家戦略特区・地方創生課の創設
- ・地域農家の出資、法人立ち上げ
- ・地域農業関係機関、大学との連携(協力者・協力団体)
- ・国家戦略特区特定事業者
- ・養父市農業委員会
- ・兵庫県(養父市特別支援チーム)
- ・三井物産(株) 関西支社
- ・東京都健康長寿医療センター研究所

具体の取組内容

- ①農地法第3条（農地の権利移動）許可権限の養父市長への移管
- ②農家と認められる営農面積の下限引下げ
- ③農業生産法人の役員要件緩和
- ④移住人口の増加、地域文化の復活
- ⑤アグリ特区保証融資制度の設立
- ⑥高齢者の労働時間延長

成功要因

- ・市長の強いリーダーシップと行政による専門部署の設置、県との連携
- ・担い手視点によるしくみ構築と、特区制度の活用で、大胆な農業改革を実現
- ・推進力に民間活力や資金を活用

地域の変化

- シルバー人材センターの「社会の担い手」としての活動活性化
- ・高い加入率と多方面での活動
 - ・耕作放棄地での有機栽培野菜、コメの都市部への販売
 - ・米の生産と販売(含む。輸出)
 - ・シルバー人材センター会員の研修受講者が、指導者として行政区単位でのフレイル予防教室開催
 - ・友活（婚活）事業
 - ・ボランティア活動、異世代交流ボランティア
 - ・宿泊型交流拠点「みやがき結の里」の設置・運営 等

次の行動

- ・農業や高齢者雇用だけでなく、地方創生の実現を目指した取り組みとして国家戦略特区を活用
- ・地域医療の充実を目指す